

◎ 公契約関係競売入札妨害事件に関する
調査特別委員会の設置について

2月議会最終日の2019年3月18日、地方自治法98条一項に基づき、公契約関係競売入札妨害事件に関する調査特別委員会が設置され、委員長に鈴木善文氏、私は副委員長に就きました。

設置の際、100条委員会の提案もありましたが、既に容疑者が警察に逮捕され、司法により裁かれる場合には相応しくないと判断。今後は膨大な資料を読み解き、当局への質疑を行い、さらに議員間でも議論します。勿論、原因究明や行政調査の中で新たな疑惑が生まれた場合、新たな方法の検討が必要になります。二度とこのような事態が起こらないよう、原因究明と再発防止策への使命感を持ち、厳しい目線でチェックしていきます。

名称	公契約関係競売入札妨害事件に関する調査特別委員会設置
委員の定数	7名
調査事項	(1) 公契約関係競売入札妨害事件に関する原因究明について (2) 公契約関係競売入札妨害事件を踏まえた再発防止策について
調査権限	本議会は、3に掲げる事項の調査を行うため、地方自治法第98条第1項の権限を上記特別委員会に委任する。
調査期限	上記の特別委員会は、3の調査が終了するまで、閉会中もなお調査を行うことができる。

◎ 磐田新駅の名称が「御厨（みくりや）」に決定しました！

JR東海の金子慎社長は2019年3月6日、名古屋市内で開いた定例記者会見で、2020年春に開業予定である東海道線袋井－磐田駅間の新駅の名称を「御厨（みくりや）」と発表しました。

磐田市鎌田の新駅周辺はかつて御厨村と呼ばれ、地域の呼称として広く親しまれていますが「みくりや」と読める方は多くはないと思います。

そもそも御厨とは「神様の台所」という意味で、神饌（しんせん・・・日本の神社や神棚に供える供え物）を調進する場所だったようです。平安期あたりから荘園としての機能も持ち、鎌倉時代には武士からの寄進もあり、全国に500箇所もあったとのこと。この磐田市の御厨は伊勢神宮の御厨だったようですが、現在の磐田の東海道線2つの駅も、駅前の皆さんが盛り上がり、それぞれの個性あるまちをつくってくれること、そのサポートができることを楽しみにしています！今日も仲間たちと話をしていましたが、差し当たり「神様の台所」の駅ですから、食のイベントや街並みづくりもいいかもしれませんし、全国の「御厨」ネットワークを作ることいいかもね！・・・なんて意見も出ていました。大いに夢を膨らませつつ、実現可能なところから着手していきたいと思っています。2020年の春からが楽しみです。

◎ 悪質な詐欺や不審電話に十分ご注意ください！！

磐田市が運営、掲載する「ふるさと納税」の寄附を募るウェブサイトから、商品画像や説明文をそのまま流用し、または本市の市名、所在地などの概要を使用して、取扱事業者と偽って詐欺行為をはたらく悪質なサイトが確認されました。ふるさと納税（寄附金）を納めた後、返礼品が届かないといった被害の他、個人情報不正に取得される可能性が考えられます。その他、磐田市内では市役所職員を名乗り「還付金を振込むので、口座番号を教えてください。」などと言って、金を騙し取ろうとする電話が相次いでかけられています。市の職員から電話で口座番号を聞き出すことは一切ありません！不審電話には十分ご注意ください！



皆様こんにちは！あしかわ和美です！

若葉がいちだんとさわやかに感じられる季節になりました。皆様お変わりありませんか？本年4月30日をもって「平成」が終わり、新たな元号の幕開けとなります。どんな未来が待っていて、どんな時代になるのでしょうか・・・新しい時代の始まりに期待が膨らみます。平成の始まりを青春時代に迎えた私にとっては、様々な思い出が昨日のこのように蘇ってきます。当時はバスケットボールに夢中な部活女子でしたが、やがて成人し、社会人となり、結婚・出産・・・あんなに小さかったやんちゃ息子が、あっという間に16歳（笑）。磐田では、ジュビロ磐田がリーグに加盟したときは、まち全体が大盛り上がりでしたね！長野オリンピックの開催、なでしこジャパンのワールドカップ優勝、リオオリンピックでは磐田市出身の水谷隼選手や伊藤美誠選手が銅メダルを獲得するなど、平成を盛り上げてくれたヒーロー・ヒロインたちに歓喜感動し、家族や友だちと一緒にテレビにかじりついていた時もありました。平成も30年と4か月で幕を下ろします。本当に、様々なことがありました。

そんな中でも、やはり私の中で一番の記憶であり、また決して忘れてはいけないのが「災害」です。平成の時代だけを見ても、阪神淡路大震災、東日本大震災、昨年発生した西日本豪雨など・・・大震災・大災害といわれるものが何度も発生し、多くの方が被災し、お亡くなりになりました。本当に、心が痛みます。

自然災害や経済状況など、「大変動の時代」に私たちは生きています。決してネガティブなことばかりではありませんが、予測のつかない事態に直面したとき、私たちはどう生き抜いていくかを常に考えなければなりません。

災害に強いまちづくりを進めていくためには、行政の責任として、先を見据えた防災対策と自助意識の向上を図ること。但しそれは、行政だけの努力ではなく、市民の皆様の協力があってこそ災害時に力を発揮するものだと考えます。

大切なのは官民が協力し合い、生活の拠り所となる「不易の基軸」を築き上げることではないでしょうか。

日本人は災害時でも冷静に、譲り合いの精神をもって行動すると海外からも称賛されています。これは日本人としての誇りであり、遡って祖先が築き上げた美徳といえます。人が歴史を通じて堂々と積み重ねてきた生活文化を見失うことなく、各種芸道や武道など「道」の文化伝統に触れ親しみ、日本人として勇気を学ぶことも、たくましく生き抜く上での大きな力になると信じています。

新たな時代に向けて、あしかわ和美は今まで以上に経験と勉強を重ねてまいりますので、今後もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。笑顔あふれる磐田市を一緒につくりあげてまいりましょう！

あしかわ和美

発行：あしかわ和美後援会 『ピース・ファミリー』事務局

住所 〒438-0041 磐田市西之島18番地

TEL 0538-33-8201

FAX 0538-21-0181

【メールアドレス】 ashikawa@econowa.org

【ホームページ】 http://kazumi55.jimdo.com/

【フェイスブック】 「芦川和美」で検索してください



内部資料

